



なかよし通信

発行者：公明党豊島区議団一東池袋1-18-1区役所内公明控室 中島連絡先：西巢鴨2-3-7



《ごあいさつ》
豊島区議会公明 中島よしはる

日頃からお世話になり誠にありがとうございます。豊島区議会平成二十四年第一回定例会が三月二十六日閉会しました。
私は、公明党を代表して一般質問を行い、防災対策やマンション対策などについて区の施策を糺し、様々提案しました。
今定例会では平成二十四年度の予算案を審議する予算委員会が開かれ、私も委員として、当面する課題、安全・安心の取り組みなどについて提案しました。
本会議最終日には、新しい教育委員三名が選任され、選挙管理委員四名を選挙で選びました。また、五月九日から韓国ソウル市東大門区との友好都市十周年記念式典のため訪韓する議員の派遣が議決され、私は公明党を代表して参加することになりました。
豊島区は今年区政施行80周年の節目を迎えます。区はWHOの安全・安心のセーフコミュニティを今年の大きなテーマと掲げています。私も安全・安心の豊島区づくりに更に取り組んで参ります。
今回のなかよし通信では、私の一般質問と予算委員会での発言要旨をダイジェストでご報告します。引き続きのご指導、ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。

「豊島区を世界一安全なまちに」

中島よしはる「一般質問



平成24年第一回定例会で中島よしはるは、「豊島区を世界一安全なまちに」とのテーマで
1. 平成24年度予算について
2. 防災対策について
3. 省エネ環境施策について
4. その他
の内容で一般質問を行いました。

● 予算案については、行政の無駄削減のために業務の「総点検」を評価し、加えて事業評価に『第三者評価』の実施を訴えました。
● 防災対策では、木造密集地の“燃えない街”づくりの方策やマンション対策、大災害時のヘリコプター拠点の整備などを提案しました。
● 省エネ環境では電力の外部事業者からの購入や、窓ガラスにシールを貼った環境・防災対策などを要望しました。
今後とも、世界一安全な街づくりのため更に頑張つてまいります。

高密度都市の安全対策を図れ！

東京都のモデル地域指定を！

3・11を教訓として、東京都は、木造住宅密集地域の改善をこの十年間で、集中的かつ重点的に取り組み、地域内の不燃それによると、まず「不燃化特区制度」を創設して特区を指定いたします。制度の本格実施は平成25年度からとなります。その前に先行実施する地区を募集し24年度中に選定するとしています。決算委員会でこの事業への積極的な参加を強く要望してきましたが、再度区長の姿勢を糺しました。区長からは積極的に取り組むと答弁がありました。

マンション居住者の防災意識向上を図れ！

被災地仙台市の視察を通して震災被害にあったマンションの建て替え・改築をスムーズに行えるよう、平常時からのマンション住民による、意思疎通の重要性を訴えました。

屋上ヘリポートの整備を

大災害時の医療・救援活動にヘリコプターが大活躍した事例を紹介して、区内の屋上ヘリポートの整備を訴えました。



中島よしはる予算委員会発言

震災・減災対策の充実を！



要援護者対策

災害時の要支援者については、豊島区は「手挙げ方式」で希望者だけ対応しています。現在の登録者は約六百名で、区内の障がい者、要介護度3以上の方、約八千八百名に比べると圧倒的に少ない現状であります。

抜本的な対策を要望し、その際は、東日本大震災の実体験を被災者に語って頂くなど、実態に沿う支援策を地域で考えていく必要があると訴えました。

家具転倒防止事業

公明区議団が推進してきた、一人暮らし高齢者や障がい者の家具転倒防止事業は好評であるところから予算面でも対応するよう訴えました。

初期消火の水利確保

公明区議団は初期消火の重要性を訴えてきました。今年度新たに水道水を利用した簡易消火栓や、更に都議会公明党の提案による、行き止まりの廃止水栓を活用した水利確保策等、木密地域や狭隘道路地域など、火災危険地域の水利確保に努めるよう要望しました。



こどもの安全

学童保育の時間延長について、23年度モデル事業が好評であり、24年度の拡充を要望しました。更に、公明区議団が一貫して推進してきた放課後対策事業・こどもスキップは全国から視察にくるなど大好評であり、未設置校の早期実現を要望しました。区側から利用者の要望を受け止め、取り組むと答弁がありました。

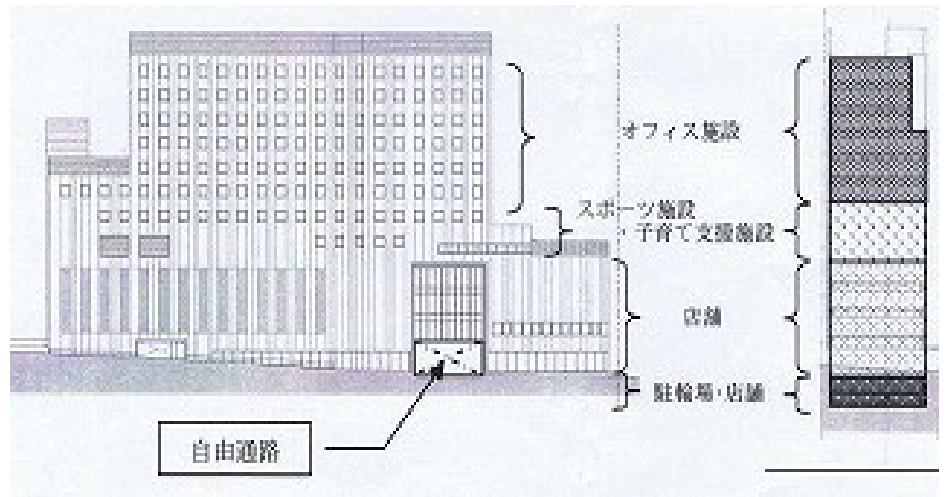


大塚駅周辺整備

J R大塚駅周辺整備について質疑。地元住民から期待されている北口整備については、新しい賑わいの街づくりになるよう地元住民の声を充分配慮するよう要望しました。

更にJ Rガード下の壁面に巣鴨北中学校、西巣鴨中学校生徒による絵画の保存について、生徒さんの気持ちを考えて、街の文化、活性化に繋がる対応を望みました。

また、南口の12階建てJ R駅ビル計画については周辺商店街への配慮、説明責任の徹底について要望しました。区側からは、地元の声を充分取りいれて、関係者と協議して対応すると答弁がありました。



福島応援ツアー

東日本大震災の被災地支援の取り組みについて、公明区議団の提案で福島県猪苗代「四季の里」の宿泊利用者に対して1,000円の補助事業を評価しました。

東京都が今年度、福島県への支援を決定したことから、豊島区としても継続実施されるよう強く要望しました。

更に、区立中学校1年生のスキー教室が長野県に場所を移しているが、被災地支援の意味でも、猪苗代の再開の検討を要望。被災地の情勢をみながら、保護者のご理解を得られるよう、努力していくことを要望しました。区側から利用者の要望を受け止め、取り組むと答弁がありました。



子ども自転車用ヘルメットの補助事業！

公明区議団は、自転車事故が急増している現状から、自転車の安全運転に対する対策・啓蒙を強く訴えてきました。今年度豊島区は、WHOの安全・安心のセーフコミュニティ認証の一環として、自転車ヘルメット普及・補助事業を実施し、子どもの着用率アップを図る事業を決定しました。

この事業は13歳以下の子ども用ヘルメット(SGマーク付き)を区内自転車商組合で購入時に2,000円を補助する事業です。

更に、5歳以下の幼児の保護者を対象にした「親子自転車安全教室」を受講された保護者に、ヘルメット購入割引券(3,000円分)を発行する事業も計画しています。(詳しい内容は5月1日号の広報としま等で紹介されます、ぜひご覧ください)

- 《補助内容》
- 13歳以下の子ども用 2,000円
 - 5歳以下の親子教室 3,000円



トピックス

中島よしはる連絡先

自宅TEL3910-1493 事務所TEL6802-5948
 中島e-mailアドレス y_nakaji@toshima.ne.jp
 中島公式hp <http://www.nakajima-y.jp/>

【公明党無料法律相談ご案内】

毎月第1、第3木曜日、14時から。
 区役所4F公明控室 TEL 3981-1428
 e-mail; toskomei@toshima.ne.jp